



令和7年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和7年7月14日

上場会社名 アクサホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3536 URL <https://www.axas-hd.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久岡 卓司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 新藤 達也 TEL 078-391-4000
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和7年8月期第3四半期の連結業績（令和6年9月1日～令和7年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年8月期第3四半期	9,254	3.2	155	777.1	26	—	△29	—
6年8月期第3四半期	8,966	6.0	17	△89.3	△78	—	△111	—

(注) 包括利益 7年8月期第3四半期 △30百万円 (—%) 6年8月期第3四半期 △79百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
7年8月期第3四半期	△0.99	—
6年8月期第3四半期	△3.69	—

※ 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
7年8月期第3四半期	18,468	1,935	10.5	63.81
6年8月期	16,607	2,026	12.2	66.83

(参考) 自己資本 7年8月期第3四半期 1,935百万円 6年8月期 2,026百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年8月期	—	0.00	—	2.00	2.00
7年8月期	—	0.00	—	—	—
7年8月期（予想）	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和7年8月期の連結業績予想（令和6年9月1日～令和7年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,347	5.4	408	—	262	—	250	696.9	8.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	7年8月期3Q	30,325,252株	6年8月期	30,325,252株
② 期末自己株式数	7年8月期3Q	1株	6年8月期	1株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	7年8月期3Q	30,325,251株	6年8月期3Q	30,325,252株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（令和6年9月1日から令和7年5月31日まで）のわが国の経済は、雇用・所得環境の改善等により経済情勢は緩やかな回復基調が見られる一方で、米国の関税政策に伴う金融市場の混乱や食料品やエネルギー価格の長引く物価高等の影響により先行きへの不透明感が増しております。そのような経済環境のなか、当社グループは、お客様の日常から最も近いところから「本当にいいものや必要とされるものを見極める感性を磨き続け、良質な提案をスピーディーにお届けすること」を最重要使命とし、グループ全体でお客様、そして地域社会の生活文化の質的な向上を「美・健康・ゆとりの側面」から応援し、顧客満足、社員満足を高めていくことで会社満足も高め、これら3つの満足によってグループ価値の更なる向上に努め、株主様、取引先様をはじめとするすべての関係者の皆様への利益還元と社会貢献の実現を目指しております。

具体的な取り組みとして、令和7年4月、プラザアレックス日比谷シャンテ（千代田区有楽町）において、施設の3階フロアに位置する店舗を、女性の美と健康をテーマに取り組んでいる同施設の地下1階フロアに移転し、リニューアルオープンいたしました。同年5月、使い勝手の良い生活雑貨と、世界中のコスメティックが融合した、ビューティーライフスタイルショップ、アレックスコンフォートカメイドクロック（江東区亀戸）をオープンいたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末におけるグループ店舗数は、39店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの経営成績につきましては、売上高は9,254百万円（前年同四半期比3.2%増）となり、営業利益は155百万円（同777.1%増）、経常利益は26百万円（前年同四半期は経常損失78百万円）となりました。特別損失及び法人税等を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は29百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失111百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 小売事業

小売事業につきましては、ヘルス&ビューティーケアユニットでは、無添加・オイルフリーに拘ったスキンケア商品の供給不足等による影響があったものの、高単価まつ毛用美容液や美容室専売品のヘアトリートメント等の販売が好調に推移いたしました。

ライフスタイルユニットでは、インテリア部門等の販売が苦戦した一方で、ファッション性と機能性に優れたバッグカテゴリーの販売が好調に推移いたしました。

アスレユニットでは、新入学シーズンにおいてクロスバイクや付属のパーツ、ギアの販売が好調に推移した一方で、前年同四半期にあったプロサッカーチーム関連の販売が剥落いたしました。

ホームキーパーユニットでは、超高密度刺繍ブランドの刺繍ワッペンキーホルダーの販売が好調に推移した一方で、前連結会計年度において好調であった専門文具等筆記具の販売が苦戦いたしました。

アルコユニットでは、ジンやウォッカ等スピリッツ類の販売が好調に推移した一方で、仕入価格の高騰に伴い販売価格を見直した影響により、ウイスキーやブランデー等の販売が苦戦いたしました。

ECでは、前連結会計年度好調であったアルコールカテゴリーの販売が苦戦した一方で、国内化粧品や消臭・抗菌効果の高い靴の消臭パウダー等の販売が好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は5,907百万円（前年同四半期比6.7%減）、セグメント利益は144百万円（同84.0%増）となりました。

② 卸売事業

卸売事業につきましては、好調なナショナルブランド商品の販売と、活況なインバウンドマーケット向け商品の投入により売上が拡大した一方で、嗜好品等の消費の低迷や、中高価格帯商品の価格競争等により利益率が低下いたしました。

六甲山蒸溜所においては、ハイボールブームによるスーパーチェーンへの新規販路拡大やインバウンド市場での販売が増加し、売上は大きく拡大いたしました。

これらの結果、売上高は3,519百万円（前年同四半期比25.8%増）、セグメント利益は75百万円（同12.9%増）となりました。

③ 不動産事業

不動産事業につきましては、所有物件の価値を維持、向上させることにより、引き続き既存テナントから安定した売上を確保するとともに、キャピタルゲインを含めた譲渡価額が、想定する運用期間における将来キャッシュ・フローを上回る一部物件につきましては譲渡を実施しております。

これらの結果、売上高は523百万円（前年同四半期比6.1%増）、セグメント利益は186百万円（同4.1%増）と

なりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は18,468百万円（前期末比11.2%増）となり、前連結会計年度末に比べ1,860百万円増加いたしました。これは主に、棚卸資産717百万円及び販売用不動産1,349百万円等の増加に対し、現金及び預金570百万円等の減少によるものであります。

負債合計は16,533百万円（同13.4%増）となり、前連結会計年度末に比べ1,952百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金1,620百万円及び1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金145百万円等の増加によるものであります。

純資産合計は1,935百万円（同4.5%減）となり、前連結会計年度末に比べ91百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失29百万円、配当金の支払60百万円等による利益剰余金の減少によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は10.5%（前期末比1.7ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和6年10月15日付「令和6年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,341,582	770,740
売掛金	459,506	659,888
棚卸資産	4,240,250	4,957,351
販売用不動産	—	1,349,586
預け金	8,332	8,136
未収還付法人税等	464	—
その他	188,865	342,476
流動資産合計	6,239,002	8,088,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,069,754	2,093,594
機械装置及び運搬具(純額)	239,272	214,485
什器備品(純額)	268,916	224,508
リース資産	23,316	31,405
土地	5,708,260	5,745,328
有形固定資産合計	8,309,518	8,309,321
無形固定資産		
のれん	505,455	528,090
借地権	58,348	58,348
ソフトウェア	103,260	83,762
電話加入権	7,821	7,821
無形固定資産合計	674,886	678,024
投資その他の資産		
投資有価証券	180,874	179,387
繰延税金資産	323,312	322,527
敷金及び保証金	532,037	528,425
破産更生債権等	4,686	4,686
その他	337,053	349,728
貸倒引当金	△4,686	△4,686
投資その他の資産合計	1,373,278	1,380,068
固定資産合計	10,357,684	10,367,414
繰延資産		
社債発行費	10,539	12,606
繰延資産合計	10,539	12,606
資産合計	16,607,225	18,468,201

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	437,051	544,874
短期借入金	8,260,000	9,880,000
1年内償還予定の社債	300,000	—
1年内返済予定の長期借入金	372,480	389,520
リース債務	6,933	9,518
未払法人税等	33,723	12,473
賞与引当金	21,086	28,515
未払金	178,322	157,714
その他	167,598	245,179
流動負債合計	9,777,196	11,267,796
固定負債		
社債	500,000	800,000
長期借入金	3,640,605	3,768,941
リース債務	19,238	25,680
役員退職慰労引当金	100,694	100,877
資産除去債務	196,643	200,695
受入保証金	319,246	350,618
繰延税金負債	2,719	2,719
その他	24,259	15,865
固定負債合計	4,803,406	5,265,399
負債合計	14,580,602	16,533,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,686,487	1,686,487
利益剰余金	237,405	146,768
自己株式	△0	△0
株主資本合計	1,973,892	1,883,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,730	51,749
その他の包括利益累計額合計	52,730	51,749
純資産合計	2,026,623	1,935,005
負債純資産合計	16,607,225	18,468,201

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年9月1日 至 令和6年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年9月1日 至 令和7年5月31日)
売上高	8,966,484	9,254,936
売上原価	6,653,509	6,928,962
売上総利益	2,312,975	2,325,974
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	672,030	611,499
その他	1,623,206	1,558,888
販売費及び一般管理費合計	2,295,237	2,170,387
営業利益	17,738	155,586
営業外収益		
受取利息	166	4,728
受取配当金	1,413	1,868
共済解約手当金	—	10,230
その他	8,323	3,407
営業外収益合計	9,904	20,235
営業外費用		
支払利息	81,902	121,855
為替差損	12,438	2,839
その他	11,688	24,760
営業外費用合計	106,029	149,454
経常利益又は経常損失(△)	△78,387	26,367
特別利益		
固定資産売却益	—	6,000
資産除去債務戻入益	—	5,361
投資有価証券売却益	2,668	—
特別利益合計	2,668	11,361
特別損失		
固定資産除却損	9,927	1,054
閉店損失	29,270	42,822
固定資産売却損	433	—
その他	4	4,090
特別損失合計	39,634	47,967
税金等調整前四半期純損失(△)	△115,353	△10,238
法人税、住民税及び事業税	18,193	18,455
法人税等調整額	△21,590	1,292
法人税等合計	△3,397	19,748
四半期純損失(△)	△111,956	△29,986
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△111,956	△29,986

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年9月1日 至 令和6年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年9月1日 至 令和7年5月31日)
四半期純損失(△)	△111,956	△29,986
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,753	△980
その他の包括利益合計	32,753	△980
四半期包括利益	△79,202	△30,967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△79,202	△30,967

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和5年9月1日 至 令和6年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報 告 セ グ メ ン ト			
	小 売 事 業	卸 売 事 業	不動産賃貸事業	計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	5,966,476	2,509,459	—	8,475,936
その他の収益	—	—	489,455	489,455
外部顧客への売上高	5,966,476	2,509,459	489,455	8,965,391
セグメント間の内部売上高又は振替高	362,462	287,512	3,477	653,452
計	6,328,939	2,796,972	492,932	9,618,844
セグメント利益	78,590	66,502	179,448	324,541

(単位:千円)

	その他(注)1	合 計	調整額(注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
売上高				
顧客との契約から生じる収益	1,092	8,477,029	—	8,477,029
その他の収益	—	489,455	—	489,455
外部顧客への売上高	1,092	8,966,484	—	8,966,484
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	653,452	△653,452	—
計	1,092	9,619,937	△653,452	8,966,484
セグメント利益	930	325,472	△307,734	17,738

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△307,734千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 令和6年9月1日 至 令和7年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報 告 セ グ メ ン ト			
	小 売 事 業	卸 売 事 業	不動産賃貸事業	計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	5,506,049	3,228,235	—	8,734,284
その他の収益	—	—	519,394	519,394
外部顧客への売上高	5,506,049	3,228,235	519,394	9,253,678
セグメント間の内部売上高又は振替高	400,968	290,778	3,627	695,375
計	5,907,017	3,519,013	523,021	9,949,053
セグメント利益	144,600	75,062	186,891	406,555

(単位：千円)

	その他（注）1	合 計	調整額（注）2	四 半 期 連 結 損 益 計 算 書 計 上 額（注）3
売上高				
顧客との契約から生じる収益	1,258	8,735,542	—	8,735,542
その他の収益	—	519,394	—	519,394
外部顧客への売上高	1,258	9,254,936	—	9,254,936
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	695,375	△695,375	—
計	1,258	9,950,311	△695,375	9,254,936
セグメント利益	547	407,102	△251,516	155,586

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△251,516千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年9月1日 至 令和6年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年9月1日 至 令和7年5月31日)
減価償却費	258,668千円	242,791千円
のれんの償却額	27,156千円	29,777千円